

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和8年1月26日

協議会名: 桐生市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
株式会社沼田屋タクシー	黒保根町デマンドタクシー (運行区域: 黒保根地区)	<p>・運転免許証を自主返納した市民に対し、デマンドタクシーの回数券の無償交付を継続して行っている。また、わたらせ渓谷鐵道においても、運転経歴証明書を提示した方に対し、普通運賃を50%割引する措置を行っており、鉄道事業者と連携して利用促進の施策を行っている。</p> <p>・デマンドタクシー利用案内のチラシについて、地域おこし協力隊が刷新した案内チラシを黒保根町内に毎戸配布したほか、黒保根町内の観光施設に利用者への配布を依頼し、利用促進を図った。</p> <p>・令和6年6月に策定・公表した「地域公共交通計画」の基本方針の一つに「市民総ぐるみによる交通変容への挑戦」を位置付け、市民の交通に対する意識・行動変容の周知に取り組んでいる。</p>	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった。</p> <p>目標: 1日あたり利用者数 10.1人 実績: 1日あたり利用者数 5.2人</p> <p>分析: 地区人口の減少(令和6年3月末1,477人→令和7年3月末1,436人)に伴い、利用者の減少が考えられる。</p> <p>C なお、黒保根地区は、水沼駅周辺のリトリート環境整備事業を進めており、令和5年9月にサウナと飲食を楽しむ施設「サウナの森 水沼ヴィレッジ」、令和7年4月に水沼駅に併設した温泉施設「駅の天然温泉 水沼の湯」がオープンしたほか、周辺の森林公園整備にも取り組んでいるため、黒保根町デマンドタクシーについては、今後、こうした施設利用などにより、利用者の増加が期待できる。</p>	<p>・運転免許証自主返納者に対してデマンドタクシーの回数券交付支援について継続して実施する。</p> <p>・民間企業による水沼駅周辺の再開発などをきっかけに、黒保根区域内の移動にデマンドタクシーを利用してもらえるよう、継続してアピールを行っていく。</p> <p>・毎月、毎戸配布している市の広報紙にデマンドタクシーの利用方法等を掲載し、利用促進を図る。</p>